



第546号

ジオスペース館だより

★ 星団ってどんな天体？

夜空の様々な天体のうち、第544号では「星雲」を見てきましたが、今回は「星団」をクローズアップしてみましょう！

「星団」で最も有名なものといえば、今の季節に肉眼でもよく見える、おうし座の「プレアデス星団（すばる）」。

平安時代の女流作家 清少納言が『枕草子』の中で美しいものとして「星はすばる」と1番にあげて称えたほどです☆ 日本では星が6～7つ数えられたことから、「六連星（むつらぼし）」や「七福神」など様々な名前と呼ばれています。この「星団」の正体は、多くの星の集まり。以下の2つに分類されます。

散開星団

球状星団



プレアデス星団
(すばる)
© 国立天文台



M13
© 国立天文台

★散開星団・・・数百個程度の比較的若い星たちが、パラパラと不規則に集まっている星団。肉眼で見えるものもあり、双眼鏡で楽しめるものも多い。

＜主な散開星団＞ M45 プレアデス星団／すばる（おうし座）、M44 プレセペ星団（かに座）

★球状星団・・・数万個から数百万個の年老いた星たちが、お互いの重力によって、ギュッと1か所にボールのように丸く密集している星団。ほとんどの球状星団は観測するのに望遠鏡が必要。

＜主な球状星団＞ M13（ヘルクレス座）、オメガ星団（ケンタウルス座）

（まめ知識）星雲・星団の名前には、上記のように、頭に「M」が付いているものがあります。これはメシエ(Messier)を略したものです。「メシエ」はフランスの天文学者。彗星を探す時、同じようにぼんやりと見える星雲・星団が紛らわしいため、彗星と区別してカタログを作りました。その星雲・星団は「メシエ天体」と呼ばれています。



イベント情報



（くわしくは各チラシをご覧ください）いずれも中央図書館2階事務室で受付

★ 星のお兄さん&びわっちくんの★プラネタリウム笑(ジョ〜) 1/22(日) 15:00〜

参加料：1人500円(先着120名)、《 チケット発売中! 》



★ とよかわ星空観望会「冬の星空を見よう!」 2/4(土) 18:30〜20:30 赤塚山公園（講師：中島健次氏）

参加料：1人300円(先着100名)、《 整理券配付：1/21(土)〜 》 ※中止時はプラネタリウムで講師の特別解説

★ 星空コンサート「Dël So Lë 伝えたいメッセージ 〜」 2/19(日) 15:00〜

参加料：1人500円(先着120名)、《 チケット発売：1/21(土)〜 》（演奏：デルソール）



☆☆ 1月のプラネタリウムのご案内 ☆☆

平日	15:00〜	FROM EARTH TO THE UNIVERSE ～宇宙への旅～
土日祝	10:30〜	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2 ～太陽系のひみつ～
	13:30〜※	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2 ～太陽系のひみつ～(字幕付)
	15:00〜※	FROM EARTH TO THE UNIVERSE ～宇宙への旅～(字幕付)



※ 1/22(日)の13:30〜・15:00〜は、「プラネタリウム笑」のため上記番組の上映はありません。

★ プラネタリウムの休館日

<1月> 16(月)・18(水)・23(月)・30(月) <2月> 6(月)・13(月)・14(火)・15(水)・20(月)・27(月)

■ 2/19(日)は「星空コンサート」のため、通常の番組上映はありません。

豊川市ジオスペース館☆